

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

一般会計補正予算等について

問 人口減少対策事業を繰越明許費とすることについて、平成29年度の事業執行状況は。

答 3月12日現在、定住促進住宅取得奨励金については、94件、約6,400万円の交付決定を行っており、そのうち3月末までに住宅が完成し年度内に支出見込みのものが49件、約3,400万円、完成が4月以降となるため繰り越し予定のものが45件、約3,000万円である。また、三世帯同居住宅改修助成金については、11件、約390万円の交付決定を行っており、年度内に支出見込みが8件、約280万円、繰り越し見込みが3件、108万円である。なお、今後、年度内にそれぞれ申請があるものについては、すべて繰り越しになると考えている。

問 歳入の地方消費税交付金の交付基準は。

答 人口及び従業員数に応じて市町村に交付されるものである。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

二本松市子育て世代包括支援センター条例制定等について

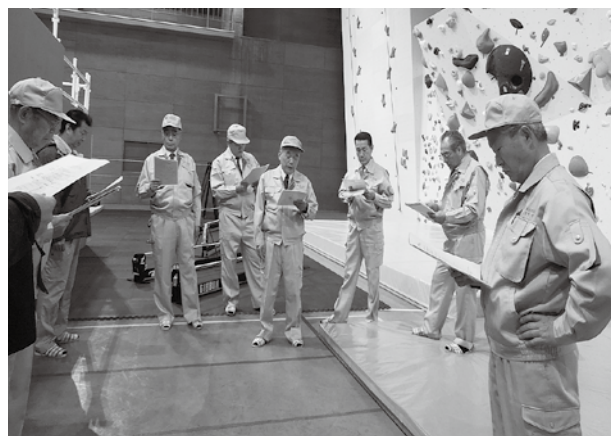
問 二本松市子育て世代包括支援センターの職員体制はどのように考えているのか。

答 職員体制については、3名から4名の配置を検討しており、職種については、保健師、助産師、一般事務職員の配置を考えている。また、所長についても配置したいと考えている。

このほか、当市民産業常任委員会では現地調査を実施いたしました。



現地調査の様子（市民の森）



現地調査の様子(スカイピアあだたらアクティブパーク)

3月1日に付託された各議案は、3月12日から15日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日20日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

建設水道常任委員会

二本松市空家等対策協議会条例制定、一般会計補正予算

問 二本松市空家等対策協議会条例制定について、協議会構成委員の内訳と、今後、空家となった場合、どのような対応となるのか。

答 協議会構成委員は、司法書士会、建築士会、土地家屋調査士会、不動産協会の代表及び区長会代表等の10名である。今後は、様々な事例が考えられるが、地元区長等と連絡を密に協議し、さらに、通学路に関連する場合は、学校等とも連携し、協力を得ながら対応していきたい。

問 二本松城跡総合整備事業について、関係者との協議の進捗状況は。

答 現在、基本設計を策定中であり、内部では、産業部、教育委員会及び企画財政課等と協議をしており、外部では観光協会、物産協会及び地元郭内

町内会等からの代表者によるワークショップを重ねている。複合施設は、1階が物販スペース、2階が歴史資料展示スペースの構想で協議を進めている。



現地調査の様子（市営住宅茶園団地）

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

問 学校施設整備事業の繰越明許費となった理由が、補助金の採択が遅れたことによるものであったが、どのようなことか。

答 補助金の第一次採択時には補助枠により不採択となり、追加募集の第二次採択を得て事業を行っており、年度内の標準工期が確保できなくなったためである。

問 地域自立生活支援事業について、配食サービス事業委託料が減額となっているが、利用者が減少しているということか。

答 年々利用者が減少している傾向であるが、昨年度より要介護認定者でも利用できるようになったため、今後増加傾向に向かうと考えている。



机上審査の様子